

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 357 号	氏名	Kirira Peter Gakio
学位審査委員		主 査	尾野村 治
		副 査	畑山 範
		副 査	田中 正一
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、多くの医薬品や不斉有機触媒の中核をなす光学活性環状アミン類を効率的に合成できる反応を開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 L-プロリンなどの入手容易な光学活性環状アミノ酸へのジアステレオ選択的置換基導入法や置換基除去法を開発できれば、医薬品や不斉有機触媒等に見られる複雑な構造の光学活性環状アミン類を効率的に合成できる有用な分子変換法となる。本研究では、窒素保護基を選択すれば望みのジアステレオ選択性でα'位にアリアル基やアリル基を導入できる、また電解法を用いればα'位アリル基やベンジル基が容易に除去できるとの独自の発想に基づくものであり、高く評価できる。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で検討した結果、Cbz 基と Bz 基を使い分けることにより L-プロリン 5 位への <i>cis</i> 及び <i>trans</i> 選択的にアリアル基を導入できること、並びに陽極脱アリル化及び脱ベンジル化法を開発した。さらに、本反応を用いてトリクロロシランの新規有機不斉活性化剤となる C2 対称 2,5-ジアリアルピロリジンの合成や光学活性 4 級環状アミノ酸の簡便な不斉合成を達成した。いずれの手法も有用な医薬分子や有機触媒合成にも利用可能である。以上の点から、これら研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は医薬品合成化学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			